

紙の博物館

☎ 893-0886

●開館時間 9:00～17:00

●休館日 毎週月曜日

(但し、祝日は開館し翌日休館)

■販売コーナーは入館無料です。

■お得な年間観覧券があります。
お申込日から1年間有効です。
受付にて1,500円で販売中

○紙逢わせ(しあわせ)展パートII

11月2日(土)～11月24日(日)
書家 北古味可葉、光の切り絵作家 酒井敦美、和紙スイーツ作家 倉美紀が三人三様に和紙を使って制作した作品を展示します。

●トークイベント

日時 11月2日(土)13:30～15:00
三人の作家が作品、紙、仁淀ブルーなどについて語り合います。
参加ご希望の方は紙の博物館まで電話でお申し込みください。

○第43回土佐愛石会

「石は地球の宝物だ」展
11月29日(金)～12月1日(日)
土佐愛石会会員が自然石を展示販売します。

○山口マオ展

11月30日(土)～12月23日(月)
絵本「わにわに」シリーズ(福音館書店)でお馴染みの人気イラストレーター山口マオさんの展覧会を開催します。絵本の原画や、版画のオリジナル作品など、どれも高知では初めてのお披露目となります。子どもから大人まで楽しめる展覧会です。会期中、ワークショップなどのイベントも開催します。

●関連イベント

11月30日(土)
12月22日(日)調整中

○岡田育美展

12月4日(水)～12月23日(月)
第8回高知国際版画トリエンナーレ展で土佐和紙賞を受賞した岡田育美さんの版画作品20数点を展示します。

●ギャラリーガイド&実演

日時 12月15日(日)13:30～15:30
展示作品や版画の技法についての解説の後、数種類の土佐和紙に版画を刷るデモンストレーションを行います。

[岡田 育美]

多摩美術大学大学院美術研究科
絵画専攻版画研究領域に在籍中
《受賞歴》

2012年

・版画フォーラム2012和紙の里ひがしちぶ展

[東秩父村議会議長賞]

・第80回 日本版画協会展

[第80回日本版画協会賞]

・第1回 FEI PRINT AWARD 2012

[賞候補]

2013年

・アワガミ国際ミニプリント展2013

[優秀賞]



作品募集

◇第24回 手づくり紙芝居コンクール

募集締切 11月10日(日)

本選および表彰式 12月1日(日)

参加料 作品1点につき

一般 1,000円・小学生 500円

自作自演の手づくり紙芝居コンクールを開催します。子どもからお年寄りまで楽しめる紙芝居を作ってみませんか。予選通過者には、本選で実演していただきます。

詳細は土佐民話の会までお問い合わせください。

☎ 875-7720

◇第7回全国土佐和紙はがき絵展

応募締切 12月23日(月)

土佐和紙を多くの人に知っていただき、その素晴らしさを実感してもらおうと全国からはがき絵作品を募集します。応募には、指定の土佐和紙はがきをご利用ください。紙の博物館・高知プレイガイドで販売しています。5枚セット(サンプル1枚付)…250円ドーナツ引き(にじみ止め加工)と、ドーサなしがあります。

ギャラリー・コパ

☎ 893-1200

●開館時間 9:00～17:00

○親子三代手作り展

11月1日(金)～11月4日(月)

99歳になられた浜田辰位さんは、和紙で作った創作人形を展示され、娘さんの森元礼子さんとお孫さんの比奈岡正子さんは古布や着物などをリメイクした洋服や和の小物、アクセサリなど、約200点を展示販売します。

○まったりと生活骨董&古布展 16

11月8日(金)～11月12日(火)

日曜市でおなじみの古美術高陽堂の展示会です。江戸～昭和の漆器、陶磁器、古布着物や家具、戦前戦後のレトロな生活雑貨など約500点を展示販売します。

おわび
広報10月号へ、9月に終了している催し物(備前焼 吉延真一 本山直義 作陶展)を掲載しました。
おわびいたします。



高知国際版画トリエンナーレ展あれこれ



「トリエンナーレ」って、どういう意味？

「トリエンナーレ」の語源はイタリア語で、3年ごとに開かれる展覧会のことを「トリエンナーレ」といいます。



「高知国際版画トリエンナーレ展」って、どんな展示会？

3年に一度、紙の町いの町で開催される国際版画展(公募展)です。1990年に始まり、次回で9回目となります。第1回展からプロの出席する公募展として国内外から高い評価を得ています。

第9回作品応募期間：2014年4月1日～4月30日

第9回展覧会：2014年10月11日～11月30日

主催：土佐和紙国際化実行委員会
(事務局：いの町紙の博物館内)